とうきょう　すくわくプログラム活動報告書

園名	草花保育園
活動日時	令和8年2月4日（水）～9日（月）
クラス名（年齢）	たんぽぽ組（2歳児）
年間テーマ	自然

1、活動テーマ

＜テーマ＞

寒さを知ろう

＜テーマの設定理由（子どもの姿）＞

・1月から氷作りを通して、寒いと水が凍ることをなんとなく理解した子ども達。「寒い」とは何か、遊びの中で氷や雪に触れ知っていけるよう過ごした。

2、活動スケジュール

・氷作りを毎日行う
・氷の中に秋に集めた葉っぱを入れる

3、環境をデザインする（活動のために準備した素材や道具、環境設定）

・園児のマークを貼ったゼリーのカップ
・落ち葉
・雪遊び

4、探究活動の実践

＜活動内容＞

・氷作りをする時にカップに落ち葉を入れ、見た目も楽しめる氷遊びをする
・氷ができたら触れたり手に取ったり、見せ合う
・氷や雪に触れると手はどうなるか感じる

＜活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり＞

子どもの言葉・姿	写真
・氷ができた。「寒いとできるんだよ」と知っていることを友達や保育者に話す ・「ずっと持っていると手が痛い」「キンキンしたよ」と、手で感じた感触を言っていた ・「手が赤くなった」「触ってごらん冷たいよ」と自分の手を保育者に見せ、冷たさを共有しようとする ・雪が降った翌日は綺麗な氷ができ、大喜び ・凍った葉っぱが綺麗で見せ合う ・「寒いと息も白くなるよ」と言われると「はぁ～」と息を出して見て楽しむ ・「氷の結晶」の図鑑を見て興味を持つ子もいる	

5、振り返り（振り返りによって得た保育者の気づき）

・先月から引き続き氷作りをして、ぐっと寒くなった日にはきれいな氷ができた。「何で氷できたんだろうね」と問いかけると、今までの保育者との会話や経験から「寒いから」と答えが出るようになった。“寒い”とは何か、氷をずっと触っていたら手が「キンキンした」手が「赤くなった」と感じたり目に見えることで体験でき,より一層“寒い”ことに触れ理解できたのではないかと感じた。雪が降り、触れて遊ぶことができたことも良い体験だった。